

平成29年7月4日

開進三中だより

< 第4号 >

—◆たくましい人◆考える人◆心豊かな人◆助け合う人— 練馬区立開進第三中学校

「どうすればできるか」

校長 岩尾 幸市

先日、行われた講演会「今、求められる力」の話を紹介します。人から何か依頼されたとき、意欲ない人はできない理由を探してしまう。意欲のある人は、「どうすれば、できるかを考え実行」という話を聞きました。

私たちの生活の中でも、「できない」を「どのようなすればできるか」に考えることは、前向きに生きることに繋がります。

この話を聞き、2年前の新聞記事「1日60分で花園に行けた」の見出しを思い出しました。静岡聖光学院の部活動は、様々なことにチャレンジさせようという方針で練習ができるのは校則で週3日。火、木、土曜日で1日あたり最大90分、11月から2月は冬時間ということで、土曜日以外は60分だけです。ラグビー部顧問の先生は、「どうすれば勝てるか、全国（花園）に行けるか」をテーマに生徒とともに考えました。

練習が1日60分しかできないから足りない、ではなく、60分しか耐えられない練習、すなわち61分やったら倒れてしまうような密度の濃い練習にすればいいのではないかと考えたのです。まず、練習の待ち時間をなくし、とにかく休みなしで動くようにしたのです。水を飲みに行くのも全力ダッシュ。先生が集合と言っても全力ダッシュです。発想の転換と生徒の自主性から、「ハイレベルな文武両道の強豪チーム」になることを目指し練習に取り組み、全国大会の出場を果たしました。

夏休みを迎える今、「自分で考えて計画を実践する」ことを大切にしたいものです。自分で生活時間を計画し、自分で管理していくことが求められます。いつ（時間帯）、何を（内容）、どれだけ（時間や量）実行するのかを、各学年に応じて考えて取り組むことで自立への基礎が養われていきます。また、将来のことを考える絶好の機会です。3年生は、進路実現に向けて努力することはもちろんですが、1・2年生も、自分の強み（得意・良い点）を理解し伸ばす。社会のようすを見つめ、将来の希望を考えてみてください。この夏休みを、自分自身を鍛える良い機会として有意義な夏休みにしてください。

セーフティ教室

6月13日（火）に練馬警察署スクールサポーターの方2名を講師にお迎えしセーフティ教室を実施しました。

今回は薬物乱用防止を中心に非行防止についてビデオ鑑賞を交えながら学習をしました。

中学生にとって普段の生活の中ではあまり関わりがないように思える薬物ですが、売る側の手口は巧妙になり、その危険性や、ほんの一瞬の油断で取り返しのつかないことになってしまいう恐ろしさを知りました。



薬物についてのビデオを鑑賞

道徳研究授業

6月28日（水）道徳の研究授業を行いました。

授業は3年1組（授業者：吉田教諭）「よりよい学校生活、



付箋紙を活用しグループ討議

集団生活の充実」を主題に行いました。開三小の校長先生、区中研道徳部の先生方とたくさんの先生方が参観する中、グループでの議論、発表と、取り組む姿は流石3年生でした。日頃、授業で取り組んでいるグループワークや意見発表の経験がしっかりと身に付き実践されていました。



討議の内容を発表

小中連携教育の取組

☆6月23日（金）校区别協議会が開進三小で行われました。英語（加藤教諭、高橋教諭）・算数（松井教諭）・家庭科（庄山教諭）の3教科に関しては中学校の教員が授業を行う「出前授業」を行いました。中学校の授業とはどんなものなのか興味津々の子どもたちを前に、中学校の先生方も緊張しながらも楽しく授業を展開していました。



家庭科、調理実習（プリン）



算数（負の数）



英語（I like～）

☆6月26日（月）には生徒会役員が開進三小へ行き朝礼に参加しました。

役員代表があいさつをしたあと、開進三中のマスコットキャラクターの「あいさつマン」がギャラリーに登場して小学生と交流しました。



生徒会役員があいさつ



あいさつマン登場